

・評価基準に示したように学年末試験は70点です。問1～問3で70点満点になります。

問1. 民主化の比較政治に関し、下記の問いについて論じなさい。

- (1) 授業で検討した韓国・台湾における移行の挫折と成功を整理して、権威主義体制の民主化が何故どのように実現するのかについて論じなさい(10点)。
- (2) 近年は世界的に「民主主義の後退」が危惧されているが、民主主義体制の要件をどう捉え、その確立・維持には何が重要だと考えられるだろうか。授業での学習を踏まえ、具体的な根拠を提示して、この問いに対する見解を論じなさい(10点)。

問2. 分断国家をめぐる国際関係について、下記の問題を論じなさい。

- (1) かつて台湾に逃れた国民党と中国共産党は、同じ領土をめぐる正統性を争う2つの国家の政権政党として対立関係にあった。しかし近年の中国共産党と台湾国民党の関係は、別の政党との関係と比較して友好的だと言える。いつから、なぜ、そうした関係の変化が現れたのだろうか。台湾の国際政治の変化に着目して、2つの政党の関係変化の理由と現在の関係についてまとめなさい(10点)。
- (2) 米国と韓国は、北朝鮮が核開発を推進して危機が顕在化した際に「関与政策」をとるに至ったが、それぞれどのような判断で、具体的にどんな「関与政策」を行い、最後はなぜ政策が転換されるに至ったのか。北朝鮮に対する関与政策の意図と限界についてまとめなさい(10点)。

問3. 東アジアの国際秩序に関して、以下の問いを論じなさい。

- (1) 現在の米中関係の基本枠組みは、米中接近から国交正常化の際に設定されたといえる。その核心となる中台関係について、中華人民共和国が主張する「原則」とそれに応じた米国の「政策」を整理したうえで、その両国関係の基本枠組みが現在の米中関係の悪化でどのように動揺しているのかを論じなさい(15点)。
- (2) 東アジアでは中台関係のみならず朝鮮半島にも大きな不安定要因がある。戦後の東アジアの国際秩序が安定せず、現在、危機がさらに高まっているのは何故か。問題の原因を論じなさい。そのうえで、問題に対応して日本はどのような政策をとるのが適切か、論拠を示して自らの見解を論じなさい(15点)。

<ボーナス問題> この授業全体を通じて最も重要だと思った問題を取り上げ、その問題について論述しなさい。その際、(1) 重要とみなす問題を「問い」として明示し、(2) それを最重視する「理由」を説明し、(3) その問いに対する答えを論述する形式で記述しなさい(10点)。